

習性のデザイン

毛糸・合成毛皮・ゴム・プラスチック
w170×d2460×h8mm
w70×d140×h50mm
w3×d600×h3mm

藤田 理貴

Fujita Riki

デザイン工芸コース

動物は進化の過程で様々な習性を持つようになり、その多彩さは自然の叡智ともいえる。動物の習性をデザインとして再構築し、身の回りのものに落とし込むことによって、日常の中でそれらを意識する瞬間が生まれ、私たちの経験に基づいた感覚・感触の記憶と重なりあう。

マフラーは首に巻きつき、カイロカバーは体温を感じさせ、ネックレスはチクチクするような感触を呼び起こす。

日常に潜んだ習性に気づいたとき、見た人、触れた人、着用した人の想像力はかきたたられ、これまでとは違うものの見方をしている自分にも気がつくのである。



- 1 ヘビ柄のマフラー
- 2 ハムスターのカイロカバー
- 3 アリのネックレス